

# 「全てが必然」



2017. 5. 12

No. 1

校長 川上慎治

## 平成29年度336名で始動！

着任してあっという間に1か月が過ぎました。

これからこの校長室だよりを通して、早島中学校の様子等について、生徒をはじめ、保護者の皆様や学校を支えてくださる地域の方々に発信していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

校長室だよりの名前は、良いこともあれば、時にはうまくいかず、苦勞することがあるかもしれませんが、そのこと全てが自分を成長させてくれるものだという思いを込めて、「**全てが必然**」とさせていただきました。平成29年度の入学式の式辞でもこの話をさせていただきましたが、これからの様々な出来事を前向きに捉えて、たくましく未来を切り拓いていける子ども達を育てていけるよう、全教職員一丸となって努力してまいりたいと思います。

## 早島中名物の登り坂「よっこらしょ！」



朝、校門で登校の様子を見ていると、自転車を押して一生懸命に坂道が上がってきます。2・3年生は慣れた足取りで一気に登っていきませんが、1年生は一苦勞です。

手を貸してやりたい気持ちをぐっと抑え、4月当初は見守っていましたが、最近は足取りが軽くなってきたように思います。何事も経験。たくましさを身につけるには良い坂なのかもしれません。大変だけど、頑張れ！！

## 更にたくましく…、何かを叶えるには…

5月17日～19日までの3日間、3年生が沖縄へ修学旅行に、22・23日と1年生が関谷へ宿泊研修に、23日は2年生が広島へ平和学習に行っております。どの学年も実行委員が中心となって取り組んでいます。2・3年生はどのような「平和の誓い」にするのか、文献を調べながら思いを込めて作り上げています。時には、他の中学校では、どのような取組をしているのかを見聞きしながら取り組んでいます。1年生も何を持っていけばよいのか、先生方に指示されるのではなく、自ら進んで考えています。

先生方に指示され動くのではなく、どうすべきかを自らが考え、自分たちの力で実践していく。まさに、**自主的・主体的**な取組が展開されています。

余談ですが、「吐く」という字は、口と+（プラス）と-（マイナス）から構成されています。みんなの中から-（マイナス）発言がなくなり、前向きな+（プラス）発言が飛びかうようになれば、「吐く」という字が変わります。何かを叶えようとするのであれば、人を傷つけるような-（マイナス）発言をなくし、常に温かい+（プラス）の言動を心がけてほしいですね。仲間と共によい経験ができることを強く願っています。